



アウトリガー体験走行

バンクする「感覚」を身につけるために、アウトリガー装着車で体験走行も行なう。転倒する危険がないので、思い切ってバイクを寝かすことができる。両サイドに伸びるアウトリガーは重量感があるが、寝かしこみのフィーリングは思っていたよりスムーズだ。

「ライディングの基本からマル秘テクニックまで学べる」



コース スラローム

「8の字」走行をはじめ、直線でのスラローム、オフセットスラローム、コーススラロームなど、走りこむ時間は充分。参加者はグループ分けして各カリキュラムに当たるため、待ち時間はほとんどなく、ひたすら練習に没頭することができる。



ハイウェイコース走行

スズキ車のテストコースでもある「竜洋テストコース」の外周を使い、公道ではできない速度域での走行にもチャレンジ。とはいえ、走行はマシン性能やライダーの技量、各自の申告によってグループ分けされ、先導付きで安全性に配慮した内容となっている。



加速からのブレーキング

コースの直線路を使い、加速からのフルブレーキングも繰り返し練習する。同時に、ABS装着車は、その効果を試すチャレンジも行なえる。また、同じ直線路を使い、Uターンの練習もじっくりと数多く練習できた。いずれもニーグリップがキモになるカリキュラムだ。



スクールに参加して、みんなで上手になろう！

で、走行に関しては「キチンとバイクをコントロールできているか」を再認識し、繰り返しの練習でスキルアップを図るというプログラムが組まれている。

実際にスクールが始まると、その走行量の多さに圧倒されるものの、身体が慣れてくると、適度な緊張感と相まって、走ることが楽しくなってくるから不思議。インストラクターの方からは、「下半身のホールド不足」を繰り返して指摘されたものの、「半身が安定して上体がリラックスすれば、公道はもうろん、補助さんが楽しんでるサーキット走行でも効果がでますよ」と言われ、さらにモチベーションがアップ。

ちなみに、参加車両は250cc以上のスズキ車という制限はあるが、参加車の多くがおよそライディング

スクール向きとは言えないハヤブサやGSXRシリーズが多かったのも印象的。スクール参加自体を目的にするというよりも、自分の好きなモデルをキチンと操れるようになりたい、そんな願望が参加車両からも伝わってくるようでした。

「北川圭一ライディングスクール in 竜洋」の参加者は関東から関西まで幅広く、女性の参加数は全体の1割ほど。

「みんな伸びしろはいっぱいあるんです。でも、上体の力を抜いて、と伝えても、それだけで力が抜ける人は少数派。どうすれば力が抜けるかを伝えるのも自分たちの役割です。その方法は人それぞれです」という北川さん。「ホンモノ」のライディングを身につけたライダーは、受講の価値があります。

北川圭一ライディングスクールを体験してみよう！

9/13(日) 8:30 ~ 16:30
11/29(日) 8:30 ~ 16:30
3/13(日) 8:30 ~ 16:30

主催 スズキ北川ライディングスクール事務局
<http://www.k1-kitagawa.com/>
(北川圭一公式サイトでのWEB申し込みのみ)

参加料金：1万8500円(税込)
お弁当・飲み物、保険代を含む(飲み物は、フリードリンクとなっています)

静岡県/スズキ(株) 二輪技術センター竜洋コース
お問い合わせ先：スズキ北川圭一ライディングスクール事務局
メール info@k1-kitagawa.com TEL:090-3928-6816



ポジション&フォーム指導
スクール全体ミーティングと座学が終了したあとは、ライディングポジション、走行中のフォームについて解説。「ニーグリップの使い方、ステップ加重をマスターすることで、バイクはもっと安定するし、操作もしやすくなる」とは北川さん。

スズキ「北川圭一ライディングスクール in 竜洋」潜入レポート

ホンモノのライテク、教えています！

レーシングライダーとして輝かしい実績を誇る北川圭一さんが、主催&指導するライディングスクールに潜入！メインテーマは「危険回避能力の向上」。果たして、どんなスクールなのか…？ ご覧ください！

撮影/島村栄二 文/福田稔(オートバイ)

基礎練習の繰り返しって…山を超えるの楽しくなる！



体験してきました！
兄弟誌オートバイの補助編集員が体験参加。革の上下、革ブーツ、革グローブ、フルフェイスのヘルメットが参加条件。

ライディング講師 北川圭一

全日本ロードレースなどで活躍したのち、2005年には日本人としては初となる、世界耐久選手権でのチャンピオンを獲得。2006年に現役を引退したのち、2009年から「スズキ北川ライディングスクール」を主催。

上達しない人の5つの共通点

多くのライダーに共通する5つの弱点とは？

- 目線が不安定、近くばかり見ている
- 上半身が固まっている
- 下半身のホールドが弱い
- ステップ加重の使い方が不十分
- 全身を使って乗る意識が希薄

スクールを受講する、多くのライダーに共通な弱点が左の5つ。分かっちゃいるけど、やめられない。そんな方は、個別の解決方法を聞くためにも受講してみてください。GSR250、グラディウス400、GSR750、パンディット1250などのレンタル車両もあり。